



2021年3月期 第3四半期決算補足資料

■ 2021年3月期第3四半期決算実績

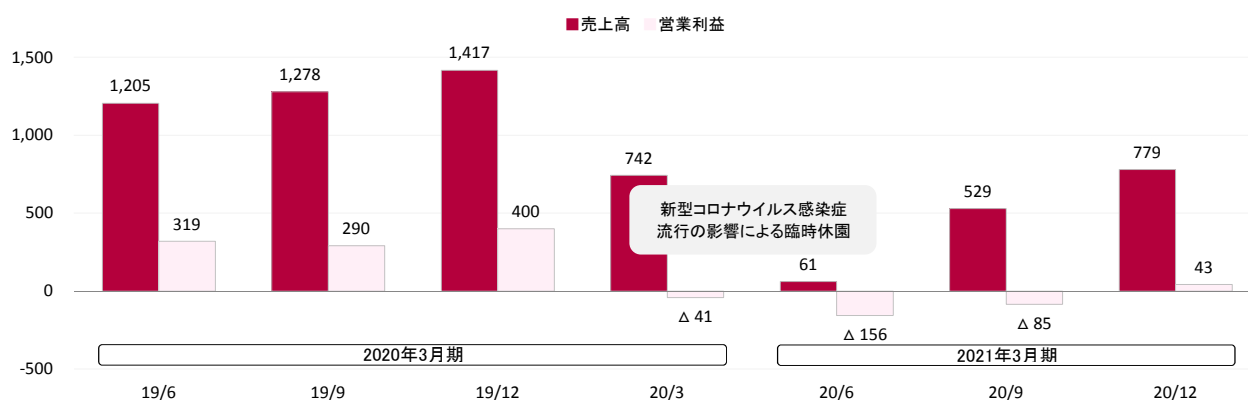
1. 四半期連結損益計算書(累計実績/前年同期)	…	1
2. 四半期連結損益計算書(第1四半期実績/前年同期)	…	3
3. 四半期連結損益計算書(第2四半期実績/前年同期)	…	5
4. 四半期連結損益計算書(第3四半期実績/前年同期)	…	7

1. 四半期連結損益計算書（第3四半期累計実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	当 累 計 期 間	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売 上 高	390,205	100.0	137,113	100.0	△ 253,091	△ 64.9
（ テーマパーク事業	324,122	83.1	109,159	79.6	△ 214,963	△ 66.3
（ ホテル事業	53,520	13.7	22,158	16.2	△ 31,361	△ 58.6
（ その他の事業	12,562	3.2	5,795	4.2	△ 6,766	△ 53.9
売 上 原 価	237,886	61.0	121,987	89.0	△ 115,899	△ 48.7
人 件 費	60,688		34,319		△ 26,368	
諸 経 費	152,221		66,794		△ 85,426	
減 価 償 却 費	24,976		20,872		△ 4,104	
売 上 総 利 益	152,318	39.0	15,126	11.0	△ 137,191	△ 90.1
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	51,279	13.1	34,966	25.5	△ 16,312	△ 31.8
人 件 費	20,242		13,900		△ 6,342	
諸 経 費	27,069		17,715		△ 9,354	
減 価 償 却 費	3,967		3,351		△ 616	
営 業 利 益	101,038	25.9	△ 19,840	△ 14.5	△ 120,878	-
（ テーマパーク事業	83,502	21.4	△ 18,384	△ 13.4	△ 101,887	-
（ ホテル事業	14,644	3.8	△ 378	△ 0.3	△ 15,022	-
（ その他の事業	2,728	0.7	△ 1,224	△ 0.9	△ 3,952	-
（ 消去又は全社）	162	0.0	146	0.1	△ 15	△ 9.8
営 業 外 収 益	2,202	0.6	1,646	1.2	△ 555	△ 25.2
営 業 外 費 用	882	0.3	3,656	2.6	2,774	314.6
経 常 利 益	102,358	26.2	△ 21,850	△ 15.9	△ 124,209	-
特 別 損 失	-	-	13,333	9.8	13,333	-
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	102,358	26.2	△ 35,184	△ 25.7	△ 137,542	-
法 人 税 等	31,365	8.0	△ 6,455	△ 4.7	△ 37,821	-
四 半 期 純 利 益	70,992	18.2	△ 28,728	△ 21.0	△ 99,721	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,992	18.2	△ 28,728	△ 21.0	△ 99,721	-

■四半期別売上高・営業利益の推移（新型コロナウイルス感染症流行以前からの推移）

（単位：億円）



【A. 売上高 2,530億円の減 (64.9%減)】

(1) 売上高の状況

(単位:百万円)

項目	前年同期	当累計期間	増減	増減比	主な増減要因
① テーマパーク事業	324,122	109,159	△ 214,963	△ 66.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの臨時休園による減 ・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	151,470	54,451	△ 97,019	△ 64.1%	
商品販売収入	107,429	33,811	△ 73,617	△ 68.5%	
飲食販売収入	60,069	18,852	△ 41,217	△ 68.6%	
その他の収入	5,153	2,043	△ 3,109	△ 60.3%	
② ホテル事業	53,520	22,158	△ 31,361	△ 58.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの臨時休館による宿泊収入の減 ・客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	47,299	19,801	△ 27,497	△ 58.1%	
その他ホテル	6,221	2,356	△ 3,864	△ 62.1%	
③ その他の事業	12,562	5,795	△ 6,766	△ 53.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの臨時休園によるモノレール事業の減 ・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減 ・イクスピアリの臨時休業によるイクスピアリ事業の減
イクスピアリ事業	5,170	3,173	△ 1,996	△ 38.6%	
モノレール事業	3,941	862	△ 3,078	△ 78.1%	
その他	3,450	1,759	△ 1,691	△ 49.0%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンパサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

(2) テーマパーク関連情報

項目	前年同期	差異	主な増減要因
入園者数		下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休園による減 ・入園者数の制限による減
ゲスト1人当たり売上高		上回った	
チケット収入		上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・制限下における入園券種の限定による増 ・チケット価格改定による増
商品販売収入		上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・営業再開後の需要増による一時的な増 ・新規エリア関連商品の増
飲食販売収入		上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・制限下における喫食機会の増加による増 ・新規エリア関連商品の増

【B. 営業利益 1,208億円の減】

(単位:百万円)

項目	前年同期	当累計期間	増減	増減比	主な増減要因
④ テーマパーク事業	83,502	△ 18,384	△ 101,887	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△102億円) ※2 ※3 ・人件費の減 (273億円) <ul style="list-style-type: none"> －特別損失への振替 (106億円) －雇用調整助成金の受給による減 (44億円) ※3 －準社員人件費の減 (64億円) －正社員人件費の減 (39億円) －その他 (20億円) ・諸経費の減 (178億円) <ul style="list-style-type: none"> －特別損失への振替 (32億円) －販売促進費の減 (35億円) －スペシャルイベント関連費用の減 (32億円) －メンテナンス費の減 (26億円) －エンターテイメント関連費用の減 (15億円) －その他 (38億円) ・減価償却費の減 (40億円) <ul style="list-style-type: none"> －特別損失への振替 (72億円) －新規取得資産の増など (△32億円)
⑤ ホテル事業	14,644	△ 378	△ 15,022	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・人件費の減 (46億円) ※3 <ul style="list-style-type: none"> －特別損失への振替、賞与の減など ・諸経費の減 <ul style="list-style-type: none"> －休館期間中の費用の減、特別損失への振替など ・減価償却費の減 (8億円) <ul style="list-style-type: none"> －特別損失への振替など
⑥ その他の事業	2,728	△ 1,224	△ 3,952	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減など

※2 第1四半期 (4~6月) の商品・飲食原価率の増影響は臨時休園をしていたことにより算出不可であることから、P.4の第1四半期営業利益の主な増減要因には記載していません。

※3 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額を営業費用から控除しています。

【総括】

1. 第3四半期 (累計) 決算の売上高および営業利益について

(1) 対前年同期: 売上高、営業利益ともに下回った。

- ・売上高については、ゲスト1人当たり売上高は増加したものの、新型コロナウイルス感染症流行の防止のため、東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシーの臨時休園や、ディズニーホテルの臨時休館に加え、営業再開後も入園者数の制限の対応をとっていることなどにより、減収となった。
- ・営業利益については、臨時休園やテーマパーク運営体制の変更による営業費用の減少に加え、一部営業費用の特別損失への振替などがあつたものの、売上高の減少により、減益となった。

(2) 対業績予想: 売上高、営業利益ともに上回った。

- ・売上高については、営業再開以降、「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った対策を講じて運営をしているなかで、ガイドラインの緩和などによる入園者数の増加に加え、ゲスト1人当たり売上高も増加したことなどにより、業績予想を上回った。
- ・営業利益については、売上高が業績予想を上回ったことに加え、商品・飲食原価率の減少や営業費用の減少などにより、業績予想を上回った。

2. 通期の業績予想について

- ・第3四半期累計実績は業績予想を上回っているものの、足もとでは政府発令の緊急事態宣言および各自治体からの要請等に基づいて入園者数の制限を変更していることなどを踏まえ、業績予想を据え置くこととする。

2. 四半期連結損益計算書（第1四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第1四半期実績 (4～6月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	120,552	100.0	6,164	100.0	△ 114,387	△ 94.9	A
（ テーマパーク事業	100,179	83.1	5,123	83.1	△ 95,055	△ 94.9	①
ホ テ ル 事 業	16,420	13.6	147	2.4	△ 16,273	△ 99.1	②
そ の 他 の 事 業	3,952	3.3	893	14.5	△ 3,059	△ 77.4	③
売 上 原 価	72,269	59.9	12,963	210.3	△ 59,306	△ 82.1	
人 件 費	18,975		4,176		△ 14,799		
諸 経 費	45,656		8,184		△ 37,472		
減 価 償 却 費	7,637		602		△ 7,034		
売 上 総 利 益	48,282	40.1	△ 6,798	△ 110.3	△ 55,081	-	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	16,345	13.6	8,843	143.4	△ 7,502	△ 45.9	
人 件 費	6,299		3,883		△ 2,416		
諸 経 費	8,733		4,380		△ 4,352		
減 価 償 却 費	1,312		579		△ 733		
営 業 利 益	31,936	26.5	△ 15,641	△ 253.7	△ 47,578	-	B
（ テーマパーク事業	27,182	22.6	△ 11,439	△ 185.6	△ 38,622	-	④
ホ テ ル 事 業	3,784	3.1	△ 3,198	△ 51.9	△ 6,982	-	⑤
そ の 他 の 事 業	911	0.8	△ 1,035	△ 16.8	△ 1,947	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	57	0.0	31	0.6	△ 25	△ 44.9	
営 業 外 収 益	1,086	0.9	753	12.2	△ 332	△ 30.6	
営 業 外 費 用	260	0.2	395	6.4	134	51.8	
経 常 利 益	32,762	27.2	△ 15,283	△ 247.9	△ 48,045	-	
特 別 損 失	-	-	21,198	343.9	21,198	-	⑦
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	32,762	27.2	△ 36,481	△ 591.8	△ 69,244	-	
法 人 税 等	9,838	8.2	△ 11,610	△ 188.3	△ 21,449	-	
四 半 期 純 利 益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	C

【A. 売上高 1,143億円の減 (94.9%減)】

(1) 売上高の状況

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減比	主な増減要因
① テーマパーク事業	100,179	5,123	△ 95,055	△ 94.9%	・テーマパークの臨時休園による減
アトラクション・ショー収入	46,848	3,844	△ 43,004	△ 91.8%	
商品販売収入	33,478	959	△ 32,519	△ 97.1%	
飲食販売収入	18,475	1	△ 18,474	△ 100.0%	
その他の収入	1,375	319	△ 1,056	△ 76.8%	
② ホテル事業	16,420	147	△ 16,273	△ 99.1%	・ホテルの臨時休館による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	14,353	26	△ 14,326	△ 99.8%	
その他ホテル	2,067	120	△ 1,946	△ 94.2%	
③ その他の事業	3,952	893	△ 3,059	△ 77.4%	・イクスピアリの臨時休業によるイクスピアリ事業の減 ・テーマパークの臨時休園によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,661	419	△ 1,242	△ 74.8%	
モノレール事業	1,177	32	△ 1,144	△ 97.3%	
その他	1,113	441	△ 671	△ 60.3%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンパサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

(2) テーマパーク関連情報

当四半期期間中は、東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシーが臨時休園としていたことにより、入園者数およびゲスト1人当たり売上高の実績はありません。

【B. 営業利益 475億円の減】

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減比	主な増減要因
④ テーマパーク事業	27,182	△ 11,439	△ 38,622	-	・売上高の減 ・人件費の減 (145億円) —特別損失への振替、準社員人件費の減など ・諸経費の減 (69億円) —特別損失への振替、販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・減価償却費の減 (68億円) —特別損失への振替など
⑤ ホテル事業	3,784	△ 3,198	△ 6,982	-	・売上高の減 ・人件費の減 (23億円) —特別損失への振替、労働時間の減による減など ・諸経費の減 (9億円) —修繕費の減、特別損失への振替など ・減価償却費の減 (7億円) —特別損失への振替など
⑥ その他の事業	911	△ 1,035	△ 1,947	-	・売上高の減など

【C. 親会社株主に帰属する四半期純利益 477億円の減】

⑦ 特別損失の増

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減比	主な増減要因
テーマパーク事業	-	19,715	19,715	-	・人件費の振替 (77億円) ※2 —休園期間中の一部の人件費 ・諸経費の振替 (32億円) —休園期間中の業務委託費、休園期間中の固定資産税など ・減価償却費の振替 (72億円) —休園期間中の減価償却費 ・飲食売上原価の人件費 ※2、商品・原材料の廃棄など (14億円)
ホテル事業	-	1,262	1,262	-	・人件費の振替 (1億円) ※2 —休館期間中の一部の人件費 ・諸経費の振替 (3億円) —休館期間中の固定資産税など ・減価償却費の振替 (7億円) —休館期間中の減価償却費
その他の事業	-	219	219	-	・減価償却費の振替 (1億円) —イクスピアリ事業の休業期間中の減価償却費など

※2 各事業における人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確実と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

3. 四半期連結損益計算書（第2四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第2四半期実績 (7～9月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	127,876	100.0	52,984	100.0	△ 74,891	△ 58.6	A
（ テーマパーク事業	105,215	82.3	42,725	80.6	△ 62,490	△ 59.4	①
ホ テ ル 事 業	18,304	14.3	8,026	15.2	△ 10,277	△ 56.1	②
そ の 他 の 事 業	4,356	3.4	2,232	4.2	△ 2,123	△ 48.8	③
売 上 原 価	81,018	63.4	49,641	93.7	△ 31,377	△ 38.7	
人 件 費	20,900		13,698		△ 7,202		
諸 経 費	51,764		26,875		△ 24,888		
減 価 却 費	8,352		9,067		714		
売 上 総 利 益	46,858	36.6	3,343	6.3	△ 43,514	△ 92.9	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,855	13.9	11,880	22.4	△ 5,975	△ 33.5	
人 件 費	7,207		4,228		△ 2,979		
諸 経 費	9,325		6,271		△ 3,054		
減 価 却 費	1,321		1,379		57		
営 業 利 益	29,002	22.7	△ 8,536	△ 16.1	△ 37,539	-	B
（ テーマパーク事業	22,747	17.8	△ 7,882	△ 14.9	△ 30,629	-	④
ホ テ ル 事 業	5,293	4.1	△ 470	△ 0.9	△ 5,763	-	⑤
そ の 他 の 事 業	896	0.7	△ 269	△ 0.5	△ 1,165	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	66	0.1	85	0.2	19	29.1	
営 業 外 収 益	537	0.4	411	0.7	△ 126	△ 23.6	
営 業 外 費 用	224	0.2	1,336	2.5	1,111	494.4	
経 常 利 益	29,315	22.9	△ 9,461	△ 17.9	△ 38,777	-	
特 別 損 失	-	-	△ 7,865	△ 14.9	△ 7,865	-	⑦
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	29,315	22.9	△ 1,596	△ 3.0	△ 30,912	-	
法 人 税 等	9,154	7.1	3,627	6.9	△ 5,526	△ 60.4	
四 半 期 純 利 益	20,160	15.8	△ 5,224	△ 9.9	△ 25,385	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,160	15.8	△ 5,224	△ 9.9	△ 25,385	-	C

【A. 売上高 748億円の減 (58.6%減)】

(単位：百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減比	主な増減要因
① テーマパーク事業	105,215	42,725	△ 62,490	△ 59.4%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	49,258	21,520	△ 27,737	△ 56.3%	
商品販売収入	34,228	13,364	△ 20,864	△ 61.0%	
飲食販売収入	19,860	7,364	△ 12,495	△ 62.9%	
その他の収入	1,868	474	△ 1,393	△ 74.6%	
② ホテル事業	18,304	8,026	△ 10,277	△ 56.1%	・ホテル客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	16,442	7,254	△ 9,187	△ 55.9%	
その他ホテル	1,861	771	△ 1,089	△ 58.5%	
③ その他の事業	4,356	2,232	△ 2,123	△ 48.8%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,805	1,320	△ 485	△ 26.9%	
モノレール事業	1,364	335	△ 1,028	△ 75.4%	
その他	1,186	577	△ 609	△ 51.4%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【B. 営業利益 375億円の減】

(単位：百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減比	主な増減要因
④ テーマパーク事業	22,747	△ 7,882	△ 30,629	-	・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△25億円) ※2 ・人件費の減 (83億円) ※2 ・雇用調整助成金の受給による減、正社員人件費の減など ・諸経費の減 (50億円) ・販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・減価償却費の増 (△6億円)
⑤ ホテル事業	5,293	△ 470	△ 5,763	-	・売上高の減 ・人件費の減 (15億円) ※2 ・賞与の減など
⑥ その他の事業	896	△ 269	△ 1,165	-	・売上高の減など

※2 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額を営業費用から控除しています。

【C. 親会社株主に帰属する四半期純利益 253億円の減】

⑦ 特別損失の減

(単位：百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減比	主な増減要因
テーマパーク事業	-	△ 7,546	△ 7,546	-	・特別損失の減 (△75億円) ・雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 ・社員冬季賞与の減額による減
ホテル事業	-	△ 309	△ 309	-	・特別損失の減 (△3億円) ・雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 ・社員冬季賞与の減額による減
その他の事業	-	△ 9	△ 9	-	・特別損失の減 (△0億円) ・雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 ・社員冬季賞与の減額による減

※3 各事業における特別損失の計上額は、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金として、確定した受給額が第1四半期決算時点で見込んでいた金額を上回ったため、第2四半期(7~9月)にその差分を特別損失から控除しています。

4. 四半期連結損益計算書（第3四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第3四半期実績 (10～12月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	141,776	100.0	77,964	100.0	△ 63,811	△ 45.0	A
（ テーマパーク事業	118,727	83.7	61,310	78.7	△ 57,417	△ 48.4	①
ホ テ ル 事 業	18,795	13.3	13,984	17.9	△ 4,811	△ 25.6	②
そ の 他 の 事 業	4,253	3.0	2,669	3.4	△ 1,583	△ 37.2	③
売 上 原 価	84,599	59.7	59,382	76.2	△ 25,216	△ 29.8	
人 件 費	20,812		16,445		△ 4,367		
諸 経 費	54,799		31,734		△ 23,065		
減 価 償 却 費	8,986		11,202		2,216		
売 上 総 利 益	57,177	40.3	18,582	23.8	△ 38,595	△ 67.5	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,078	12.0	14,243	18.2	△ 2,834	△ 16.6	
人 件 費	6,734		5,788		△ 946		
諸 経 費	9,010		7,062		△ 1,947		
減 価 償 却 費	1,333		1,392		59		
営 業 利 益	40,098	28.3	4,338	5.6	△ 35,760	△ 89.2	B
（ テーマパーク事業	33,572	23.7	937	1.2	△ 32,635	△ 97.2	④
ホ テ ル 事 業	5,566	3.9	3,290	4.2	△ 2,275	△ 40.9	⑤
そ の 他 の 事 業	920	0.7	81	0.1	△ 839	△ 91.2	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	38	0.0	29	0.1	△ 9	△ 23.6	
営 業 外 収 益	578	0.4	481	0.6	△ 97	△ 16.8	
営 業 外 費 用	396	0.3	1,925	2.5	1,528	385.3	
経 常 利 益	40,280	28.4	2,894	3.7	△ 37,386	△ 92.8	
特 別 損 失	-	-	0	0.0	0	-	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	40,280	28.4	2,893	3.7	△ 37,386	△ 92.8	
法 人 税 等	12,371	8.7	1,526	1.9	△ 10,845	△ 87.7	
四 半 期 純 利 益	27,908	19.7	1,367	1.8	△ 26,541	△ 95.1	
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,908	19.7	1,367	1.8	△ 26,541	△ 95.1	

【A. 売上高 638億円の減 (45.0%減)】

(単位：百万円)

項 目	前 年 同 期	第 3 四 半 期	増 減	増 減 比	主 な 増 減 要 因
① テーマパーク事業	118,727	61,310	△ 57,417	△ 48.4%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	55,363	29,086	△ 26,276	△ 47.5%	
商品販売収入	39,721	19,487	△ 20,233	△ 50.9%	
飲食販売収入	21,733	11,486	△ 10,247	△ 47.1%	
その他の収入	1,908	1,250	△ 658	△ 34.5%	
② ホテル事業	18,795	13,984	△ 4,811	△ 25.6%	・ホテル客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	16,502	12,520	△ 3,982	△ 24.1%	
その他ホテル	2,292	1,464	△ 828	△ 36.1%	
③ その他の事業	4,253	2,669	△ 1,583	△ 37.2%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,702	1,434	△ 268	△ 15.8%	
モノレール事業	1,399	495	△ 904	△ 64.6%	
その他	1,150	740	△ 410	△ 35.7%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【B. 営業利益 357億円の減 (89.2%減)】

(単位：百万円)

項 目	前 年 同 期	第 3 四 半 期	増 減	増 減 比	主 な 増 減 要 因
④ テーマパーク事業	33,572	937	△ 32,635	△ 97.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△23億円) ※2 ・人件費の減 (44億円) ※2 一 準社員人件費の減、正社員人件費の減など ・諸経費の減 (57億円) 一 スペシャルイベント関連費用の減、メンテナンス費の減、販売促進費の減など ・減価償却費の増 (△21億円)
⑤ ホテル事業	5,566	3,290	△ 2,275	△ 40.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・人件費の減 (7億円) ※2 一 賞与の減など
⑥ その他の事業	920	81	△ 839	△ 91.2%	・売上高の減など

※2 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額を営業費用から控除しています。



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

047-305-2034 www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。

本資料の転載はご遠慮ください。